

☆安全を最優先にした対応をとること☆

(各自の居住地の状況・通学手段等により、最善の方法を各自で選択すること)

居住地や通学路等の状況に関する情報を保護者と確認の上、通常的手段では安全に登校できない可能性がある場合は、安全第一とし、自宅待機/避難所等の安全な場所へ避難を行ってください。決して無理をして登校しないでください。

安全が確保できた上で、学校へ連絡(Google フォームまたは電話)をしてください。なお、この場合、欠席・遅刻扱いとはなりません。

対応の目安

大雨や洪水、大雪に対する警報(特別警報)が発令されている場合は、自宅待機となります。また、次のような場合は、保護者と相談の上、安全最優先で行動してください。

- ・通学路が浸水している。
- ・警報が発令されていなくても居住地付近において、落雷・地震・竜巻や川の水位上昇等の危険が感じられる。
- ・公共交通機関が途絶(運休)している。

台風等による注意報・警報発令時の対応

警戒レベル情報		授業	登校前	在校時
5	特別警報	自宅待機 臨時休校 授業あり	①午前6時の時点で嘉麻または居住地が発令されている場合は、午前11時まで自宅で待機。 ②午前11時の時点で警報が解除されていない場合は、臨時休校とし登校を禁止。 ③午前11時の時点で警報が解除されている場合は、13時40分までに登校。 ※ただし、その後の気象情報や地域の実情等を家族と相談し、安全に登校することが心配される場合は学校に連絡し自宅で待機。 (安全に登校ができることが確認できた場合は状況を見て登校)	①安全を確認した後、下校。 【確認事項】 ・交通、道路情報の確認 ・保護者引き取りの確認 ・集団下校者の確認 ・自転車通学者の安全指導 ・下校途中で帰宅不能になった場合の対処方法 ②安全に下校することが困難な生徒については、保護者に連絡をとり、適切な対処をする。
4	警報等	特別警報発令時に準ずる	特別警報発令時に準ずる	特別警報発令時に準ずる
3		平常授業	①今後の気象情報や地域の実情等を家族と相談し、安全に登校できることを確認したうえで登校。 ②安全に登校することが心配される場合は、学校に連絡し自宅で待機。状況を見て登校。	①気象状況や地域の実情に応じ下校させることもある。
2	注意報	平常授業	①今後の気象状況や地域の実情等を家族と相談し、安全に登校できることを確認したうえで登校。 ②安全に登校することが心配される場合は、学校に連絡し自宅で待機。状況を見て登校。	①気象情報や地域の実情に応じ下校させることもある。

備考

- 天気予報等を考慮し、前日までに臨時休校の判断を行った場合は、配信メール及び学校ホームページにて連絡する。
- 当時の朝に判断する際は、その旨を事前に配信メールで連絡した上で、当日の朝、登校等について配信メールにて連絡する。その後、学校ホームページにも掲出する。